

# 静脈内鎮静について

## I. 静脈内鎮静とは

- 外来歯科手術、歯科治療時の不安や恐怖心を取り除くために、点滴を介して腕の静脈から鎮静薬を投与することで、うとうとした状態になります。それによって、眠っているような、リラックスした状態で処置を受けることができます。
- 例えば、内視鏡検査の時の不快感を和らげたり、お子様がMRI撮影する際に落ち着いてできるようにするために、行うこともあります。
- 全身麻酔のように完全に眠るわけではなく、こちらの声も聞こえますし、受け答えもできます。処置が終わった後には処置中のことを覚えてないことがあります。（健忘作用といいます。これには個人差があります。）



## II. 患者様へのお願い

### 【処置の前】

- 絶飲絶食：食事と飲水は処置の**4時間までに**済ませて下さい。  
絶飲絶食の時間帯と**常用薬**を飲む時間帯が重なる場合は、処置**2時間前までに**、**少量の水**で服用して下さい。
- **\*絶飲絶食を守っていただけない場合は、誤嚥や窒息の危険性があるため、処置を中止することになりますので、必ずお守り下さい。**
- 処置前はお手洗いに必ず行って下さい。
- マニキュアは落として下さい。
- ゆったりとした服装で、安定感のある靴で来院して下さい。
- 女性の方は、ワンピースは不可です。（胴体に電極を貼る可能性があるため。）

### 【処置の後】

- 当日、処置後に車や自転車の運転はできません。
- 当日、処置後は判断力を要する事や、重要な会議などは控えて、自宅にてゆっくりお過ごしください
- できるだけ付き添いの方と一緒に帰宅して下さい。特に、初めて鎮静を受けられる方は一人で帰宅するのは避けるようお願いいたします。

## III. 当日の流れ

1. 処置前に、体調と絶飲絶食の確認を行います。
2. 血圧、脈拍の確認をします。
3. 手から点滴をとって、鎮静薬（ミダゾラム）を点滴から投与します。
4. 患者様の状態を確認し、処置に適した状態になってから、歯科処置を開始します。
5. 処置中は、常に患者様の状態を観察し、必要に応じて鎮静薬の追加を行います。
6. 処置終了後は、鎮静薬の効果が切れるまで当院にてしばらく休んでいただきます。
7. ふらつきがないことを確認してから帰宅していただきます。

## IV. 静脈内沈静に伴う危険性について

- 鎮静薬の影響で、低血圧になることや呼吸抑制が起こる可能性があります。患者様の状態を常にモニタリングさせて頂いておりますので、薬の減量や、必要があれば他の薬剤の投与など、必要に応じ適切な対応を行います。
- 薬によるアレルギーが生じた場合には、直ちに処置を中止し、適する対応を行います。
- **狭隅角緑内障と重症筋無力症の方には、鎮静薬のミダゾラムを使用することができません。**また、妊婦の方や授乳中の方も、胎児や乳児への影響の観点から控えていただいております。

## 静脈内鎮静に関する同意書

私は「静脈内鎮静の説明」を受け、内容を十分理解した上、静脈内鎮静の処置を受けることに同意します。

年\_\_月\_\_日

患者氏名（自署）

しのはら歯科医院

〒662-0911 兵庫県西宮市池田町9-6 JR西宮駅NKビル302

院長 篠原賢司

説明を行った歯科医師 \_\_\_\_\_